

取扱い説明書

アニマルキラー

TAK-5000AC

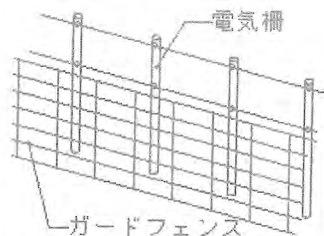
タイガー株式会社

1. 取扱いの注意（重要）

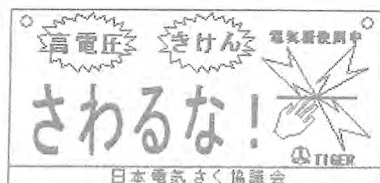
電気柵機は、変圧された電氣的衝撃をもって対象動物を感電させる機械及び施設です。そのため誰が触れても衝撃を受けますので、使用にあたっては下記の事柄に注意し施行してください。

1) 第三者が接触し易い場所に施行しないでください。通学路や人通りの多い道路・住宅地は避けてください。

2) 止む終えず「1)項」の場所に施行する場合は、柵線の前面にガードフェンスを設置するなどして人が触れないように施行し、「危険注意表示」を明確にしてください。



3) いかなる場所に施行する場合にも、「危険注意表示」をどこから見ても明確に判るように表示してください。



4) 可燃性が高く発火しやすい危険物のそばには設置しないでください。電気柵機やその施設は、電氣的衝撃電流によってスパーク（火花）を発生させる事があります。そのことに充分留意して設置してください。

5) 電灯線型（交流100V）は電気用品安全法により規制されております。必ず右図マークの明示された商品を使用してください。



6) 施行にあたっては、本取扱説明書をよく読んでから実施してください。

2. 本機の設置にあたって

1) 設置場所

アニマルキラー (TAK-5000AC) は屋内専用機種ですので屋外への設置は絶対にしないでください。

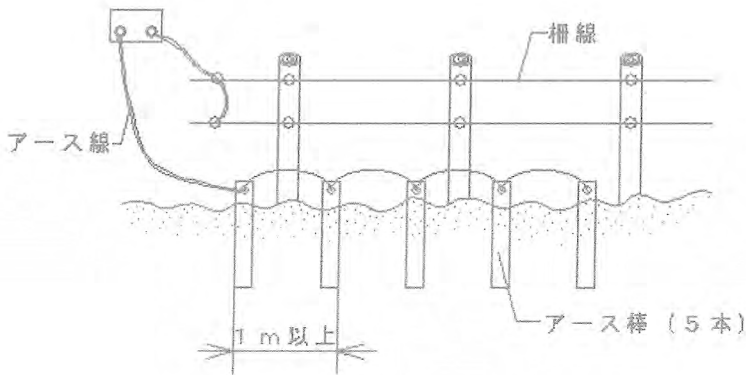
設置する環境としては、室内の直射日光の当たらない乾燥したところ、湿気の多い場所は故障の原因になりますので絶対に避けてください。

注) 15mAの漏電遮断機が設置されていないコンセントから電源をとる場合には、15mAの漏電遮断機の設置が必要となります。付属の漏電遮断機を介してコンセントに接続してください。(電気設置技術基準に準拠)

2). アースについて

電気柵機は、アースが最も重要です。アースが不完全ですと電気柵の効果が低下します。また漏電ブレーカーが働いたりラジオやテレビ・電話等の機器に雑音が入ることがあります。その上重大な故障の原因にもなりますので、アースは第三種の設置工事ですので100オーム以下にしてください。

- ・ 付属の「アース棒」を取出し下図の要領で湿ったところに深く打ち込み、アース線を本機のアース端子に接続してください。
- ・ アニマルキラーが最も有効に働くためには、アースを正しくすることが非常に大切です。アースが不完全ですと本機から強い電気が流れてもアースの部分で消費され効果が充分発揮されません。
- ・ アースは設置場所の土質・水分・湿度・土層の構成で大きく異なってきます。従ってこのことをよく知っていただいたうえで適当な場所を選んで正しくアースをしてください。



3. 各部の名称と操作方法

①電源スイッチ : 電源のON/OFFの切替を行います。

ONポジション 電源が入り本機が作動します。

OFFポジション 電源が切られます。

②出力 : ONポジションに入りますと点灯します。

③アース不良 : アースの良否を判断するランプです。

点灯しますとアース抵抗値が高い(俗に悪い)状態です。直ちにご使用を中止し、再度「本取扱説明書」のアースの項を読んでアースを取り直してください。そのままご使用を続けると故障の原因となります。

④点検 : 柵線の漏電が極端に悪化した場合に点灯します。点灯した場合には直ちに柵線を点検し漏電箇所を直してください。

⑤出力端子 : ここに柵線を接続します。本機の電源スイッチが「ON」になっているときは、ここに衝撃電流が流れていますので十分注意してください。不注意に接触しますと感電します。

⑥アース端子 : ここにアースからの線を接続します。

規定のアース抵抗値(100オーム以下)を確保している場合は、この箇所は0ボルトになり電氣的衝撃は感じませんが、アースが悪い時には電氣的衝撃電流が発生しますので接触すると感電します。

⑦ヒューズホルダー : 保護用ヒューズ(1アンペア)が入っています。

本機が故障した時や外部から強いサージ入力があった場合等に、安全のためにヒューズが熔断します。この場合は本機を点検してからヒューズを交換してください。規格外のヒューズは使用しないでください。

⑧柵線モニター : 柵線の電氣的衝撃の強さを示すモニターです。

赤色から緑色へと変化し全点灯で衝撃が最大となります。

<出力の表示状態>



低い<<<< 普通 >>>>高い



⑨吊下げフック : 本機を壁等に吊下げて設置する場合に使用します。